

輝け和泉こはく学園
和泉市立国府小学校『夢に向かって輝き合える子』
『すべてに愛を分かちつゝ』

国府だより

令和3年7月1日

7月号

教育目標：いつも笑顔，光り輝く子どもの育成

めざす児童像：主体的に考え判断し行動できる子《よくきく子・よくみる子・やさしい子・げんきな子》

子どもを見つめるということ

校長 石村 和彦

2年ぶりの水泳指導が始まり、子どもたちは静かに入水し、授業を受けています。緊急事態宣言は解除されたとはいえ、まだまだ緊張感が必要な日々が続きます。熱中症にも気を配りつつ、これからも注意してまいりたいと思います。

さて、教職についていますと、仕事としての子どもの見方と、自分自身の親としての子どもの見方がずいぶん違うことを、折に触れて痛感することがあります。

クラス担任をしていた頃を思い出しますと、子どもというのは

「いけないこと、できないこと」(×)、

「あと少しの支援でできること」(△)、「ちょっとしたいいいこと」(○)、

「すごく立派なこと」(◎)

など、いろいろな行動をするものです。

◎、○、△、×・・・の中で、一番気づきやすいのは×です。そして、何とか×を○にしたいというのが教師の思いで、ついつい叱ることが増えてしまいます。次に気づきやすいのが◎ですね。しかし、これは見つけにくいというより、そうそう見かけられるものでもないかもしれません。次に見つけやすいのが△。そして、一番見つけにくいのが○の、ちょっとしたがんばりやいいことかもしれないと思っています。

さて、われわれはこの4つを、バランスよく見られるものでしょうか。以前、NHKの番組でこういう実験がされていました。町ゆく人に新聞の朝刊を一部渡して、この中に写真が何枚あるか数えて、正解すれば賞金が出る、というものです。ところが、その新聞にはしかけがあって、新聞のあちこちに答えが言葉で書いてあるのです。ところが、写真をさがせといわれたので、どの人も新聞は眺めているのに、その文字の答えには気づきませんでした。われわれは客観的に見ているようで、実は意識の影響をすごく受けていて、見方にかたよりのあるのだな、ということを痛感しました。

親としての自分をかえりみますと、本当にかたよって子どもの×ばかりを追っていたなど、反省します。ただ、それが親心かもしれません。しかし、学校としては、ちょっとした○に気づいてやる、△を見つけて支援して○に変えてあげる、ということが大切だと思っています。子ども一人ひとりを見る力について、研鑽を深めていきたいと思っています。

□□□ 体育参観について □□□

一学期に予定されていた体育参観ですが、10月27日(水)に変更の予定です。予備日は、10月29日(金)です。昨年度同様、午前中に時間を分けての開催を計画しています。詳細は後日お知らせします。

国府小学校 7月学校行事

(SC:スクールカウンセラー来校日)

日	曜		下校時刻
1	木	色覚検査(4年希望者)	通常
2	金	色覚検査(4年希望者)	通常
3	土		
4	日		
5	月	児童集会 集中下校(モデル地区)	通常
6	火	委員会④ SC	通常
7	水	たてわり班開き集会予備日	通常
8	木		通常
9	金	登校指導	P実 通常
10	土		
11	日		
12	月		通常
13	火	個人懇談会①(短縮4時間授業)	全学年13時10分下校
14	水	個人懇談会②(短縮4時間授業)	全学年13時10分下校
15	木	個人懇談会③(短縮4時間授業)	全学年13時10分下校
16	金	個人懇談会④(短縮4時間授業) 安全点検	全学年13時10分下校
17	土		
18	日		
19	月	1学期給食最終 短縮4時間 大掃除	全学年13時45分下校
20	火	1学期終業式 3時間授業	全学年11時45分下校
21	水	夏季休業開始 水泳教室開始	夜回り
22	木	海の日	
23	金	スポーツの日	
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
通常	月	全学年…14時40分下校	
	火	1～3年生…14時40分ごろ	4～6年…15時35分ごろ
	水	全学年…14時40分下校	
	木	1・2年生…14時40分ごろ	3～6年…15時35分ごろ
	金	1・2年生…14時40分ごろ	3～6年…15時35分ごろ

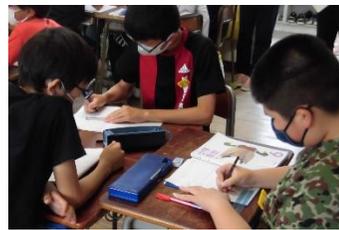
裏面もあります

6年生 公開授業

6月28日(月)5時限目に、6年1組で公開授業がありました。算数科の「分数のわり算」の単元です。

この日までに、分数÷分数、分数×分数÷分数などの計算を行ってきました。今回の授業では整数や小数のまじった計算を分数の計算ととらえて計算する問題に取り組みました。

子どもたちは、小数を分数になおしたり、整数でわりきれないときは分数で表したりできるという既習事項を用いながら、個人→グループ→クラス全体とお互いの考えを共有しながら答えを導き出せていました。



授業後は、教員がグループに分かれて授業のふり返りを行いました。実際に子どもたちの姿から、この単元で身につけさせたい力がついているかどうかや、学び方や聴き方・話し方を意識しながら取り組むことができていたか等を話し合いました。クラス全体で意見を交換しあい、答えを導き出し行く過程を見ていると、これまでの取り組みの積み重ねを感じました。

6年1組の授業を通して、「自分の意見を安心して言える」「みんなが同じ方向を向いて真剣に課題に取り組める」雰囲気づくりの大切さを改めて感じました。今回の公開授業で学んだことを大切に「6年生を卒業するまでにつけたい力」を教職員全体で再確認し、日々の授業につなげていきたいと思います。

